

薬害と医療安全を学ぶ

令和6年11月21日(木)
19:00~20:30



本研修会は、これまでの薬害、医療安全の研修会と一緒に継続的に学ぶこととして企画されました。
薬害については、これまでの事例について、薬害被害者などの声を聴き、問題点、
薬剤師として何ができるのかなどを考えていきたいと思えます。
是非、薬剤師が毎日の業務の中で職責を果たすことを、
ご参加のみなさんと学んで考えて対話していこうと考えています。

19:00~19:45

陣痛促進剤被害の現状と課題

勝村久司 先生

(全国薬害被害者団体連絡協議会 副代表世話人)

19:45~20:30

薬害から学ぶ活動 医療を目指す高校生へ

中村由喜 先生

(TAYA研究会)

〈参加費〉HAP会員1,300円(2024年度HAPパスポート利用可) / 非会員1,800円

◎日本薬剤師研修センター研修受講単位 1単位(申請予定)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。



お申し込みは
HAP申込管理
システムから

【共催】特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women(HAP)・TAYA研究会

女性の健康支援プロジェクトNPO法人HAPは、女性のライフステージに応じた健康管理と疾病管理(以下「ウィメンズヘルスケア」という)の改善とその向上を図るための情報を伝え、社会にウィメンズヘルスケアのあり方を提言し、その活動により女性のQOL向上に貢献する事を目的とするNPO法人です。